



園だより 8 月号

Keiai
君がここにいるから
敬愛高倉保育園

<http://www.keiaigakuen.com>
2025. 7. 28

♪なつ～ なつ～ だ～いすきな～ なつがやってきた～♪

晴れた日には暑さ指数を見ながら、おそらのおにわのターフの下で水遊び、さくらのおにわでは、どろんこ遊び、絵の具遊びなどをして涼をとりながら楽しく過ごしております。

そして夏は暑いだけではありません。夏の空を見上げると大きな雲がいろいろな形に変化しています。今日はどんな風が吹いているかなと感じ、時には虹が出ていることもあるかもしれません。是非お子さまと一緒に夏の空を楽しんでみてはいかがでしょうか。

◆水を使った様々な遊びを 満喫しましょう◆

- ◎色水遊び
- ◎絵の具遊び
- ◎プール遊び
- ◎水や氷を使った遊び
(水や氷の冷たさを感じる。
氷に色をつけて造形遊びなど)
- ◎水鉄砲
- ◎水風船 ◎泡遊び ◎寒天遊び
- ◎水に浮くもの沈むもの研究
(船などを作り水に浮かべたり、
水の流れをつくって動かしたりする。
耐水性のある素材を知る。)
- ◎泥んこ遊び
(水を含んだ砂の感触の違いに気付いたり、
全身を使って作る楽しさや造形の面白さを感じたりする。
水を流し入れて流れを楽しむ。)



◆「暑い夏も健康で 元気に過ごしましょう」◆

夏特有の感染症や夏バテ、熱中症を予防していきましょう！

- ◎手洗い・うがい
(うがいは「ま・ほ・おー」と声を出すと
喉の奥のばい菌を流すことができます。)
- ◎部屋を冷やしすぎない
(湿度50%～60%が目安)
- ◎規則正しい生活
(栄養バランスの良い食事・十分な睡眠)
- ◎熱中症の予防
(帽子をかぶる・長時間戸外で遊ばない)
- ◎こまめな水分補給
(冷たいものを飲みすぎない)



◆プレイデイ わくわくサポーター大募集◆

9月27日(土)プレイデイが開催されます。その際に物品の準備や、プログラム中の物品の出し入れ、また終了後の片付け等をお手伝いいただける方を大募集致します。

集合時間【8:30】 終了時間【プレイデイ終了後、トラックの積み込みまで】

※終了時間につきましてはご家庭のご都合を優先していただき、プログラム準備まででも結構です。

募集期間：8月1日(金)～9月17日(水)リハーサル日まで

持ち物など詳細は9月22日(月)にお渡し致します。

コスモス組

◆わくわく!世界一楽しいキャンプ◆

お子さまから保育園に泊まりたいとの意見が出て今年度はお泊りでキャンプを実施致しました。お子さまたちでどんなことをやりたいか意見を出し合ってキャンプの題名もコスモス組のお子さま達が考えました。

タヤけ小やけふれあいの里での川遊びでは生活素材で作った船を川で流して遠くまで流されないように石を並べて流れをせき止めて遊ぶ姿も見られました。「つめたいけどきもちいい!!」と水の流れに身を任せて身体を浮かせたり、船の代わりに見立てた大きなタライの上に乗ってバランスを取りながら前進して楽しみました。

園に戻ってからはカブラ（木の積み木）で大きな作品を作りました。姉妹園の敬愛ハーモニー保育園からもお借りして今までにない量のカブラを使いグループごとにテーマを決めて想像力豊かにお友だちと協力をして壮大な作品ができあがりました。

その他にもクッキングやすいか割り、夜の肝だめしやキャンプファイヤーなど「お子さまのやりたい」がたくさん詰まった2日間となりました。

わくわくする体験はお子さまにとって思い出に残るだけではなく、大きく成長する中で、乗り越えられた自信がつき、挑戦意欲は好奇心、探求心を育んでいきます。これからもお子さまたちとわくわくする体験活動をしてまいります。



◆引き渡し訓練◆

9月1日(月)は大規模な地震が起きたことを想定し、大切なお子さまの安全を守り確実に引き渡すことを目的とし「引き渡し避難訓練」を実施致します。

保育園では災害時に備えて食料や水の備蓄を5日分用意しております。また、お子さまの安全を第一に考え火災・地震を想定した避難訓練を毎月行っておりますが、災害時に備え「引き渡し訓練をする」ことも義務付けられております。

10:00 から避難訓練を行います。お迎えが可能な方はお迎えをお願い致します。

10:00 にお迎えが難しい方は通常通りのお迎え時間に実施致します。引き渡し訓練参加対象者（お迎えに来られる方）は、提出いただいております緊急連絡先に届け出のある方とさせていただきます。

お迎えにいらっしゃいましたら、【お子さまのクラス名・お名前・お子さまとの関係（父・母・祖父・祖母等）】をお伝えください。

また、緊急連絡先並びに災害時お迎えに来られる方一覧の変更がないか確認をしていただきます。災害時を想定し、どのような交通手段で園まで来られたか、かかった時間なども伺います。ご協力よろしくお願い致します。



●職場体験・実習生●

8月18日(月)～8月21日(木)
小学4.5.6年生・中学生・高校生

8月22日(金)
小学1.2.3年生交流会

8月25日(月)～9月6日(土)
保育実習生1名 東海大学4年生

●8月の主な予定●

8月以降の予定は、アプリ「さくらDays」のカレンダー、行事一覧にてご確認ください。
※布団乾燥は、8月中の土曜日に行います。

子どもの水の事故を防ごう！

～水辺で遊ぶときは、危険箇所等を事前に把握し、ライフジャケットを着用しよう～

令和7年7月28日
敬愛学園 安全計画推進PJ

子どもが水辺で遊ぶことは、五感が刺激され、バランス感覚や筋力・体力など身体能力が養われたり、大人の見守りのもと、水の面白さや怖さを体験的に学ぶことで、危機管理能力の発達にもつながります。何より、自然の中で様々な生きものを発見する楽しさや、水の冷たさ、心地よさなどの気持ちを共有したりすることは、家族や仲間との絆をより一層深めます。

一方、厚生労働省「人口動態調査」によると0～1歳では浴槽での溺死、より活動的になる5歳以上では、自然水域での溺死が最も多く発生しています。

子どもの水の事故を防ぐため、関係機関から呼び掛けられている水の事故防止のためのポイント及び、園における安全への取り組みを以下にお知らせいたします。



【海での水の事故を防止するためのポイント】

- ライフセーバーや監視員等がいるなど、適切に安全管理が行われている海水浴場で、指定された遊泳エリア内で泳ぐ。(遊泳禁止エリアでは、絶対に泳がない)
- 海の状態は、日ごと、時間ごとに変化するため、風の向きや波の高さ、満潮か干潮かをしっかり確かめてから入る。大人は子どもから目を離さず手の届く範囲で見守りを行う。
- 河口付近、堤防沿い等の人工物付近、岩場など離岸流が発生しやすい場所には入水しない。
 - * 離岸流(リップカレント)とは、沖に向かって発生する強い流れのことです。
 - * 海水浴場における溺水事故の自然要因の多くが離岸流によるものです。
- 堤防で釣りをする際、海への転落の危険があるため、滑りにくく、かかとのある履物を履き、ライフジャケットを着用、堤防の縁からのぞき込まない。(立入禁止区域には絶対に入らない)



【川での水の事故を防止するためのポイント】

- 川で遊ぶ時は、滑りにくく脱げにくいのかかとのある履物を履き、ライフジャケットを着用する。
- 風雨、落雷等の天候不良時、上流で雨が降っている、河川等が増水するおそれが高いときには川に近づかない。(上流などで雨が降ると、一気に水位が上昇し危険になる)
- ダムのある川では、事前に放流情報を確認し、サイレンが鳴ったらすぐに離れる。



【ため池・用水路での水の事故を防止するためのポイント】

- 立入禁止の場所には絶対に立ち入らない。(ため池で誤って転落し、死亡事故が発生している)



【園における安全対策】

- 水辺の活動エリアに応じた危険箇所を把握し、チェックリストを活用した安全対策を講じます。
- お子さまへの安全教育では、水際に落ちたものを拾ったり、身を乗り出したり、水面を覗き込むなどの危険行為が転落・落水に繋がることを伝えます。
- 水辺で活動を行う際は、滑らないように運動靴やウォーターシューズを使用します。
- 水中・水上での活動時は、浅くてもライフジャケット、必要に応じヘルメットを着用します。



【参考】

[consumer_safety cms205_220720_02.pdf \(caa.go.jp\)](https://www.caa.go.jp/consumer_safety/cms205_220720_02.pdf)

*園はこちらに基づいて安全対策を行っています。ご家庭におかれましても、参考になさってください。

落雷からお子さまを守るために ～屋外での活動中における高校生の落雷事故の発生を受けて～

令和 7 年 7 月 28 日
敬愛学園 安全計画推進 PJ

昨年 4 月におきた高校生の落雷事故（屋外でのサッカー活動中、落雷により 18 名が病院へ搬送、うち 1 名が意識不明の重体）を受けて、文部科学省より事務連絡があり、敬愛学園では落雷事故の防止に取り組んでおります。

雷が多くなる季節を前に、園としてより一層の取り組みを強めていこうと検討し、次の通り行って参ります。

保護者の皆様のご理解ご協力を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

【園での取り組み】

◆屋外での教育・保育活動においては、落雷の危険性を認識し、事前に気象情報を確認するとともに、天候の急変などの場合にはためらうことなく計画の変更・中止等の適切な措置を講じます。

◆屋外での教育・保育活動中、厚い黒雲が頭上に広がった際には、雷雲の接近を意識し、雷鳴が聞こえるときは、落雷を受ける危険性があるため、すぐに安全な場所に避難します。

＊鉄筋コンクリート・避雷針がある建物（高さ 20m 以上、6～7 階建て）
園バス（周囲に建物が無い場合）など



◆気象庁ホームページにおいて、「雷注意報」の発表状況や、実際にどこで雷発生の可能性が高まる予測となっているのかを地図上で確認できる「雷ナウキャスト」などの情報を活用します。

◆職員は落雷による事故防止の研修を行っています。

◆お子さまは全てのことに興味関心があるのと同じく、雷のことも知りたがっています。お子さまの「なぜだろう?」「どうしてだろう?」に基づき、お子さまと一緒に積乱雲の特徴や雷について、「天気の本」で調べるなどしながら、平時より気象災害への対応ができるよう備えてまいります。



【参考】

気象庁 | ナウキャスト（雨雲の動き・雷・竜巻） ([jma.go.jp](https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/))

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

「教えて！フランクリン先生（閲覧用）」（-PDF：5.7MB）.pdf (franklinjapan.jp)